

きたかみ未来創造会議

創造NEWS 2012 第2号

2012.9.19
第2回会議
総合計画を
評価するの巻

『平成24年度きたかみ未来創造会議』第2回目が、9月19日（水）に市民交流プラザにて行われました。

<第2回会議の概要>

第2回目の今回は、『北上市総合計画』を評価してみようということで、成果指標の資料を基に目標値・現状値をまず把握し、施策一つ一つに対して「順調」「概ね順調」「やや遅れている」「遅れている」の4段階で個人にて評価しました。次に、施策全体の評価を同じく4段階で各個人で評価した後、グループ全員で施策全体評価をし、意見をまとめる作業を行いました。

多数の施策を一つ一つ進捗状況を確認しながら評価していくという時間のかかる作業ではありましたが、内容が分からない施策などは「サポーター」と呼ばれる市役所担当者から説明を頂いたり、2回目ということもあり、お互いざっくばらんに雑談をしながら意見を交換するなど、順調に評価作業を行いました。

今回、目標値に対して現在の進捗状況を一つ一つ見比べていくことで、どの項目が順調か、又はどの項目が遅れているか、改めて確認することができたと思います。また、数字のみを判断することと、数字の中身の説明があつての評価することの違いや指標の捉え方の違いからくる難しさを皆さんが実感されていたようで、市担当職員の説明が評価に大変有効だったようです。また、評価を通して目標値が適切に設定されているのか？という疑問の声もあり、見直す必要性も感じられました。

会議の最後に、グループごとに全体の前で発表して頂き、自分の担当した施策以外の進捗状況も知ることができ、とても充実し且つ活発な意見交換ができた会議でした。ただ、やはり施策が多く、2回目の今回では全部を評価しきることはできず、次回3回目も引き続き残りの施策について評価したいと思います。

■次回

3回目 10月10日（水） 18:30～20:50

会場： 生涯学習センター

前回の続きで、残りの総合計画の評価をグループごとに実践するほか、それぞれの施策や指標の改善案の検討を行います。（資料の事前のご確認をお願いします）

***今回は、会場を生涯学習センターになります。前回の会場とは異なりますので、ご注意下さい。**



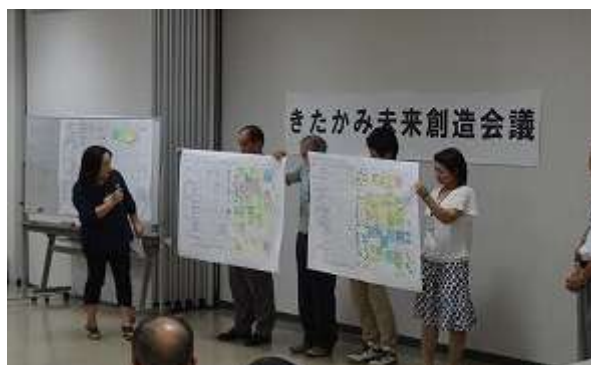
まずは個人で各指標の評価



グループごとの指標検討



グループごとの指標検討



グループでの成果発表

きたかみ未来創造会議第2回ふりかえりカード

- ・資料の量が多く理解、把握が大変であった。しかし、グループ内の和がうまく行ったので良かった。
- ・目標値をクリアしている項目が多く努力のあとが評価できる。
- ・良い勉強と刺激になりました。
- ・数字のみでの判断がちょーむずかしい。課長補佐の方々の詳しい説明は次回以降も必要だと感じた。
- ・評価等判断がむずかしい。
- ・評価はさまざまな見方があり、むずかしかった。グループワークは大変順調で楽しかった。次回が楽しみです。
- ・数字から見えてくる事と、内容を考えながら実体を見る事で相反している部分もあり、大変難しい評価だった。
- ・数字の中味の説明の有無によって評価が異なる。数字は恐いとも思う。しかし、勉強にはなった。
- ・評価することによって、市の施策が見えてきました。担当の市職員からとてもいい説明をしてもらいました。
- ・指標の難しさ、目標値設定の良し悪しは改めて大変だと感じました。
- ・数字（値）の裏側に、もっと重要な事が隠れているのでは？と感じた場でした。
- ・評価する際の、助言が非常に参考になりました。
- ・皆さんの意見の違いを感じました。
- ・指標、項目設定が適切ではない所も多い状態であったが、作業自体は順当に進んだ。
- ・サポーターの皆さんの情報提供により実績値の背景など分かった上で評価することができ、良かった。「サポーター」いいです！となりのグループから職員に急ぎょ説明もいただいたりとやっば、サポーターイイです！
- ・実績の把握がうまくいっていない項目がある。又、目標値についても見直すものがあつた。実施項目の詳細説明も判断の材料となるので説明する場をもうけてはどうか。
- ・基本施策に対する具体的項目での評価数値を把握出来た事は良かった。進捗は全体的に見ればまあまあと思われる。
- ・ゴミの項目は評価が厳しくなったが、数値以上に努力が改善されているのがわかった。
- ・指標の設定及び目標値の設定に疑問を感じる項目があつた。
- ・今回はならし運転。次回から。
- ・分野の違いでわからないことだらけです。
- ・評価指標にかなりバラつき（重要度の差）があることを知った。
- ・各施策について具体的な数値目標を知る良い機会となった。数値のみでは評価し辛い項目も多くあつたので、内容について詳しく知りたいと感じた。
- ・施策の成果を表す指標が適切なものなのかの検証も必要と感じた。
- ・施策の理想（目標）の確認も必要と感じた。
- ・経営資源のかけ方と成果との比較も必要と感じた。
- ・評価指標の見直しを進めるべき点がある。
- ・指標の難易度にばらつきがある。
- ・施策に対する市民の積極的参加が重要であると感じている。
- ・貴重な意見が出され、今後の事業展開の参考にしたい。数値だけの評価だが内容説明が必要と思つた。
- ・今日は皆さんの色々な意見や考え方が聞けて勉強になった。もっと、これからも勉強していきたい。次からは資料をしっかりと読んできたい。
- ・指標としてふさわしくない？ものや、まとめる（整理できる）ものがありました。反省しています。
- ・指標になっている項目の内容を具体的に説明してもらうことができよかつた。
- ・指標のとり方によって、評価が大きく変わることを感じました。成果指標⇔活動指標、絶対評価⇔相対評価がないまぜに存在しているので、全体の目合わせが必要だと思ひます。いろいろな意見をきくことができおもしろかつたです。
- ・目標値は達成していないが、途中経過があれば評価が変わる場合もあると思われる項目がみられた。予算額も見た評価もみた方が良いのではないかと思われた。
- ・指標によっては評価がしやすかつたり、難しいのがある。
- ・シール効果もあつてか、皆さん主体的に話し合いの場に関わつていたのがよかつた。
- ・指標以外の背景が議論されることも多く、少々混乱した時あつた。ex) 交流センター利用者数減（後退）マイナス⇔センターの職員はがんばつている...（推進）プラス